

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2010年4月20日

「大型連休分散案と浜松まつり」意識調査結果

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、浜松市民を対象に行った「大型連休分散案と浜松まつり」意識調査をまとめましたのでご案内します。

1. 調査概要

調査対象 浜松市に住む20歳以上の住民412名

調査方法 インターネット調査会社「マクロミル」を利用したインターネット調査

調査時期 2010年4月5～6日

2. 調査結果の概要

- ✓ 大型連休分散案をどう思うかたずねたところ、「反対」が「賛成」を大きく上回った。
- ✓ 春と秋とでは意見が若干異なる。いずれも、反対が賛成を上回っているが、今までのゴールデンウィークを分散化する案の方が、反対意見の割合が高い。秋は、新たに大型連休が生まれるため、賛成意見と反対意見の差が小さかった。
- ✓ 政府の試案によると、5月3～5日は全国的に休日ではなくなる。もし、試案通りの大型連休分散が実施された場合、浜松まつりの実施日をどうすべきかたずねたところ、「今まで通り5月3～5日に実施したほうがよい」が62.9%を占め、「新しい連休にあわせて実施したほうがよい」の31.1%を大きく上回った。
- ✓ 浜松まつりに参加予定の人だけを見ると、「今まで通り5月3～5日に実施したほうがよい」が79.2%と圧倒的に高い。
- ✓ 浜松まつりは、浜松最大の観光イベントであり、集客面も意識しなければならないが、浜松まつり参加者にとって、浜松まつりは端午の節句（5月5日）に合わせて行うものとの意識が強いようだ。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 菊谷

TEL 053-452-1510

FAX 053-401-6511

意識調査『大型連休分散案と浜松まつり』

大型連休を地域ごとに分散し、交通渋滞の解消、国内旅行の需要喚起を行おうとする動きが高まってきている。政府の試案によると、県西部地域の春の大型連休は5月中旬（2.5週に分散させる場合）もしくは5月下旬（5週に分散させる場合）となっており、毎年浜松まつりが行われる5月3～5日は、全国的に休日とならない。

そこで、浜松市の住民に大型連休分散案をどのように思っているかをたずねてみた。

調査概要

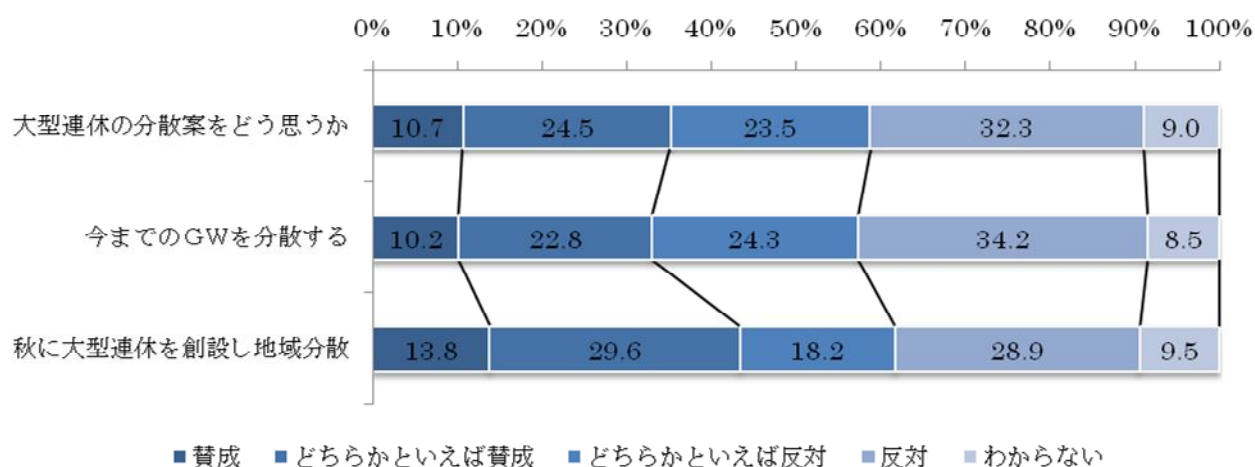
調査対象 浜松市に住む20歳以上の住民412名
調査方法 インターネット調査会社「マクロミル」を利用したインターネット調査
調査時期 2010年4月5～6日

●反対が賛成を上回る

まず、春と秋を区別せず、大型連休を地域で分散することをどう思うかたずねたところ、「賛成」、「どちらかといえば賛成」合わせて35.2%、「反対」、「どちらかといえば反対」合わせて55.8%となり、反対が賛成を大きく上回った。大型連休の分散は、メリット・デメリット両方あるが、新たな試みであるため、保守的な意見が目立つ結果となった（図表1）。

ただ、春と秋とでは意見が若干異なる。いずれも、反対が賛成を上回っているが、今までのゴールデンウィークを分散化する案の方が、反対意見の割合が高い。秋は、新たに大型連休が生まれるため、賛成意見と反対意見の差が小さかった。

図表1 大型連休の分散案をどう思うか

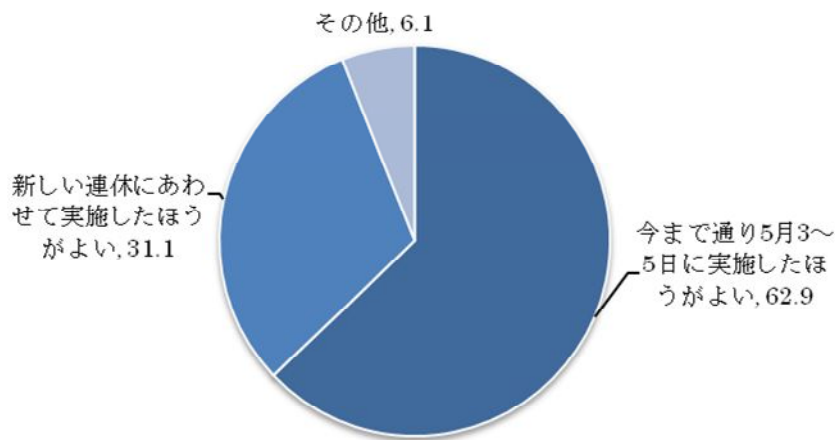


●休日でもなくても、浜松まつり参加者は5月3～5日の実施を希望

政府の試案によると、5月3～5日は全国的に休日ではなくなる。もし、試案通りの大型連休分散が実施された場合、浜松まつりの実施日をどうすべきかたずねたところ、「今まで通り5月3～5日に実施したほうがよい」が62.9%を占め、「新しい連休にあわせて実施したほうがよい」の31.1%を大きく上回った（図表2）。特に浜松まつりに参加予定の人だけを見ると、「今まで通り5月3～5日に実施したほうがよい」が79.2%と圧倒的に高い（図表3）。

浜松まつりは、浜松最大の観光イベントであり、集客面も意識しなければならないが、浜松まつり参加者にとって、浜松まつりは端午の節句（5月5日）に合わせて行うものとの意識が強いようだ。

図表2 大型連休分散が実施された場合の浜松まつりの実施日



図表3 浜松まつり参加動向別の意見

